

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第42期(決算日 2019年1月17日)
第43期(決算日 2019年2月18日)
第44期(決算日 2019年3月18日)
第45期(決算日 2019年4月17日)
第46期(決算日 2019年5月17日)
第47期(決算日 2019年6月17日)

(作成対象期間 2018年12月18日～2019年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）		
信託期間	約5年間（2015年6月26日～2020年6月17日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投 資 対 象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託 「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 分	み 金 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
18期末 (2017年 1月17日)	7,147	200	3.7	0.0	94.1	24,758	
19期末 (2017年 2月17日)	7,276	200	4.6	0.0	94.6	34,643	
20期末 (2017年 3月17日)	6,992	200	△ 1.2	0.0	94.8	49,534	
21期末 (2017年 4月17日)	6,760	200	△ 0.5	0.0	97.3	61,876	
22期末 (2017年 5月17日)	6,617	200	0.8	0.0	97.0	69,672	
23期末 (2017年 6月19日)	6,219	200	△ 3.0	0.0	97.1	74,670	
24期末 (2017年 7月18日)	6,214	200	3.1	—	97.4	85,607	
25期末 (2017年 8月17日)	6,044	200	0.5	—	97.3	99,836	
26期末 (2017年 9月19日)	6,044	200	3.3	—	97.8	113,269	
27期末 (2017年10月17日)	5,826	200	△ 0.3	—	98.4	119,309	
28期末 (2017年11月17日)	5,597	200	△ 0.5	—	98.1	119,766	
29期末 (2017年12月18日)	5,395	200	△ 0.0	—	97.8	119,904	
30期末 (2018年 1月17日)	5,061	140	△ 3.6	—	96.8	118,356	
31期末 (2018年 2月19日)	4,610	140	△ 6.1	—	99.1	100,675	
32期末 (2018年 3月19日)	4,514	140	1.0	—	98.4	97,297	
33期末 (2018年 4月17日)	4,237	140	△ 3.0	—	98.7	90,945	
34期末 (2018年 5月17日)	4,000	140	△ 2.3	—	98.4	86,153	
35期末 (2018年 6月18日)	3,913	140	1.3	—	98.3	82,342	
36期末 (2018年 7月17日)	3,908	90	2.2	—	97.8	80,283	
37期末 (2018年 8月17日)	3,812	90	△ 0.2	—	98.3	73,577	
38期末 (2018年 9月18日)	3,534	90	△ 4.9	—	98.4	65,718	
39期末 (2018年10月17日)	3,591	90	4.2	—	98.7	64,971	
40期末 (2018年11月19日)	3,610	90	3.0	—	98.5	63,812	
41期末 (2018年12月17日)	3,406	90	△ 3.2	—	98.4	59,170	
42期末 (2019年 1月17日)	3,285	90	△ 0.9	—	98.4	56,667	
43期末 (2019年 2月18日)	3,393	90	6.0	—	98.2	58,038	
44期末 (2019年 3月18日)	3,325	60	△ 0.2	—	98.4	56,238	
45期末 (2019年 4月17日)	3,253	60	△ 0.4	—	98.5	52,902	
46期末 (2019年 5月17日)	3,133	60	△ 1.8	—	98.5	49,595	
47期末 (2019年 6月17日)	3,182	60	3.5	—	98.4	49,145	

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

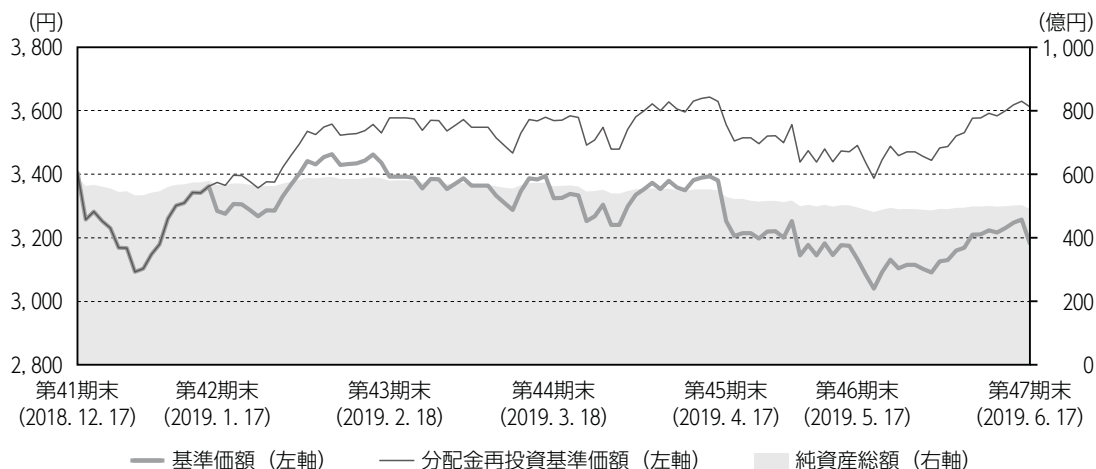
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第42期首：3,406円

第47期末：3,182円（既払分配金420円）

騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にアメリカン・リート・クワトロ・ファンドの昇が要因となり、基準価額は上昇しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドについては、米国のリートに投資し、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行うとともに、リートならびに通貨（円に対するブラジル・レアル）のカバードコール戦略を構築し

た結果、ブラジル・レアルが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、リートが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与しました。オプション取引については、リートのオプションがマイナス要因、通貨のオプションがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※アメリカン・リート・クワトロ・ファンド：
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第42期	(期 首) 2018年12月17日	円 3,406	% —	% —	% 98.4
	12月末	3,103	△ 8.9	—	99.1
	(期 末) 2019年 1月17日	3,375	△ 0.9	—	98.4
第43期	(期 首) 2019年 1月17日	3,285	—	—	98.4
	1 月末	3,402	3.6	—	99.1
	(期 末) 2019年 2月18日	3,483	6.0	—	98.2
第44期	(期 首) 2019年 2月18日	3,393	—	—	98.2
	2 月末	3,371	△ 0.6	—	99.0
	(期 末) 2019年 3月18日	3,385	△ 0.2	—	98.4
第45期	(期 首) 2019年 3月18日	3,325	—	—	98.4
	3 月末	3,241	△ 2.5	—	98.4
	(期 末) 2019年 4月17日	3,313	△ 0.4	—	98.5
第46期	(期 首) 2019年 4月17日	3,253	—	—	98.5
	4 月末	3,201	△ 1.6	—	98.5
	(期 末) 2019年 5月17日	3,193	△ 1.8	—	98.5
第47期	(期 首) 2019年 5月17日	3,133	—	—	98.5
	5 月末	3,126	△ 0.2	—	99.1
	(期 末) 2019年 6月17日	3,242	3.5	—	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 12. 18 ~ 2019. 6. 17)

■米国不動産 E T F 市況

i シェアーズ米国不動産 E T F（配当再投資）は米ドルベースで上昇しました。

米国リート市況は、当作成期首から2018年末にかけて、米国経済や米中貿易摩擦の先行きに対する警戒感が高まる中、米国株式市場の急落が世界的に拡大する展開となり、下落しました。2019年に入り、米国株式市場が底を打ったことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）が金融政策の正常化に対して慎重な姿勢を強めたことから、米国長期金利は低下し、米国リート市況も急回復しましたが、その後も、米国株の上昇や米国長期金利の低下などを背景におおむね上昇基調を維持しましたが、米国政府による対中制裁として関税率の引き上げや中国の通信機器大手ファーウェイに対する禁輸措置の実施を受けて、米中関係の悪化を懸念したリスク回避の動きが強まり、米国リーートの上値を抑える展開となりました。

■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

当作成期首から2018年末にかけては、米国株式市場の急落が世界的に拡大する展開となり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、リアルは下落しました。2019年に入ると、ブラジル国内では1月に就任したボルソナロ大統領率いる新政権に対する期待が高まったほか、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げに慎重な姿勢へ方針転換したことなどからリアルは上昇しましたが、3月下旬に入ると、トルコ・リラの急落を受けて新興国通貨が売られたほか、ブラジルの社会保障制度改革をめぐる法案成立が遅れるとの見通しなどから下落しました。5月には、米国が対中関税率の引き上げを表明したほか、中国の通信機器大手ファーウェイへの輸出を事実上禁止する規制を発効したことも、下落要因となりました。当作成期末にかけては、ブラジルの社会保障制度改革をめぐる進展期待などを背景に、上昇基調に転じました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標レンジを2.00~2.25%から2.25~2.50%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を6.50%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T F（上場投資信託証券）を活用し、米国のリートへの投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはE T Fにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2018. 12. 18 ～ 2019. 6. 17）

■当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T Fを活用し、米国のリートへの投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするE T Fにかかるコール・オプションの売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2018年12月18日 ～2019年1月17日	2019年1月18日 ～2019年2月18日	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月17日	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日
当期分配金(税込み) (円)	90	90	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	2.67	2.58	1.77	1.81	1.88	1.85
当期の収益 (円)	53	76	57	57	52	60
当期の収益以外 (円)	36	13	2	2	7	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,895	2,883	2,881	2,879	2,872	2,880

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 53.45円	✓ 76.67円	✓ 57.95円	✓ 57.09円	✓ 52.87円	✓ 67.98円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 2,932.35	✓ 2,896.57	✓ 2,883.93	✓ 2,882.18	✓ 2,879.40	2,872.40
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,985.80	2,973.24	2,941.89	2,939.28	2,932.27	2,940.38
(f) 分配金	90.00	90.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,895.80	2,883.24	2,881.89	2,879.28	2,872.27	2,880.38

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用し、米国のリートへの投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期 (2018. 12. 18～2019. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3, 276円です。
（投 信 会 社）	(7)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(12)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(0)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	2	0. 073	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(2)	(0. 073)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0. 676	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年12月18日から2019年 6月17日まで)

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	292,593.45668	6,373,028	609,351.55278	13,399,680

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年12月18日から2019年 6月17日まで)

第 42 期 ～ 第 47 期							
買 付				売 付			
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	609,351.55278	13,399,680	21

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月18日から2019年 6月17日まで)

決 算 期	第 42 期 ～ 第 47 期					
区 分	買付額等 A	う ち 利 害 関係人との 取引状況 B		売付額等 C	う ち 利 害 関係人との 取引状況 D	
		B / A			D / C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	330	330	100.0	—	—	—
コール・ローン	6,911,382	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 47 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND	2,236,584.28066	48,357,188	98.4

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年 6 月17日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	48,357,188	96.2
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	1,918,312	3.8
投資信託財産総額	50,275,660	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第41期末	第 47 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年 1 月17日)、(2019年 2 月18日)、(2019年 3 月18日)、(2019年 4 月17日)、(2019年 5 月17日)、(2019年 6 月17日) 現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	58,407,444,276円	59,795,687,262円	57,531,724,376円	54,154,511,245円	50,711,061,880円	50,275,660,464円
コール・ローン等	2,650,467,495	2,790,188,372	2,212,357,369	2,030,521,370	1,877,094,683	1,918,312,066
投資信託受益証券（評価額）	55,756,817,068	57,005,339,193	55,319,207,310	52,123,830,193	48,833,807,531	48,357,188,732
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,713	159,697	159,697	159,682	159,666	159,666
(B) 負債	1,739,961,035	1,756,781,717	1,293,642,372	1,252,412,040	1,115,702,298	1,130,575,289
未払収益分配金	1,552,305,953	1,539,364,637	1,014,774,613	975,834,982	949,704,181	926,786,176
未払解約金	130,166,749	155,394,457	225,064,649	220,777,135	114,120,273	151,812,961
未払信託報酬	57,273,163	61,648,187	53,267,701	55,077,938	50,973,406	50,909,647
その他未払費用	215,170	374,436	535,409	721,985	904,438	1,066,505
(C) 純資産総額（A－B）	56,667,483,241	58,038,905,545	56,238,082,004	52,902,099,205	49,595,359,582	49,145,085,175
元本	172,478,439,298	171,040,515,318	169,129,102,229	162,639,163,776	158,284,030,277	154,464,362,733
次期繰越損益金	△ 115,810,956,057	△ 113,001,609,773	△ 112,891,020,225	△ 109,737,064,571	△ 108,688,670,695	△ 105,319,277,558
(D) 受益権総口数	172,478,439,298□	171,040,515,318□	169,129,102,229□	162,639,163,776□	158,284,030,277□	154,464,362,733□
1 万口当り基準価額（C／D）	3,285円	3,393円	3,325円	3,253円	3,133円	3,182円

* 第41期末における元本額は173,743,347,448円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は16,304,047,526円、同解約元本額は35,583,032,241円です。

* 第47期末の計算口数当りの純資産額は3,182円です。

* 第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は105,319,277,558円です。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

■損益の状況

第42期	自2018年12月18日	至2019年 1月17日	第44期	自2019年 2月19日	至2019年 3月18日	第46期	自2019年 4月18日	至2019年 5月17日
第43期	自2019年 1月18日	至2019年 2月18日	第45期	自2019年 3月19日	至2019年 4月17日	第47期	自2019年 5月18日	至2019年 6月17日
項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期		
(A) 配当等収益	979,548,773円	1,335,663,210円	1,033,633,120円	983,891,911円	888,042,114円	1,082,236,261円		
受取配当金	979,558,417	1,335,735,135	1,033,684,259	983,948,863	888,067,998	1,082,295,896		
受取利息	382	442	759	1,166	51	355		
支払利息	△ 10,026	△ 72,367	△ 51,898	△ 58,118	△ 25,935	△ 59,990		
(B) 有価証券売買損益	△ 1,393,860,448	2,075,693,615	△ 1,106,421,847	△ 1,132,275,402	△ 1,773,030,158	639,924,985		
売買益	69,825,503	2,096,265,880	21,402,877	20,727,539	32,000,963	650,036,904		
売買損	△ 1,463,685,951	△ 20,572,265	△ 1,127,824,724	△ 1,153,002,941	△ 1,805,031,121	△ 10,111,919		
(C) 信託報酬等	△ 57,519,254	△ 61,859,655	△ 53,428,674	△ 55,266,036	△ 51,192,224	△ 51,091,114		
(D) 当期繰越益金 (A + B + C)	△ 471,830,929	3,349,497,170	△ 126,217,401	△ 203,649,527	△ 936,180,268	1,671,070,132		
(E) 前期繰越損益金	△ 35,976,859,844	△ 36,257,806,672	△ 33,044,989,194	△ 32,391,095,434	△ 32,371,358,951	△ 33,075,441,072		
(F) 追加信託差損益金	△ 77,809,959,331	△ 78,553,935,634	△ 78,705,039,017	△ 76,166,484,628	△ 74,431,427,295	△ 72,988,120,442		
(配当等相当額)	(50,576,736,122)	(49,543,163,741)	(48,775,755,775)	(46,875,626,736)	(45,576,445,200)	(44,368,403,880)		
(売買損益相当額)	(△ 128,386,695,453)	(△ 128,097,099,375)	(△ 127,480,794,792)	(△ 123,042,111,364)	(△ 120,007,872,495)	(△ 117,356,524,322)		
(G) 合計 (D + E + F)	△ 114,258,650,104	△ 111,462,245,136	△ 111,876,245,612	△ 108,761,229,589	△ 107,738,966,514	△ 104,392,491,382		
(H) 収益分配金	△ 1,552,305,953	△ 1,539,364,637	△ 1,014,774,613	△ 975,834,982	△ 949,704,181	△ 926,786,176		
次期繰越損益金 (G + H)	△ 115,810,956,057	△ 113,001,609,773	△ 112,891,020,225	△ 109,737,064,571	△ 108,688,670,695	△ 105,319,277,558		
追加信託差損益金	△ 78,440,235,766	△ 78,781,855,122	△ 78,739,609,188	△ 76,213,693,742	△ 74,544,281,587	△ 72,988,120,442		
(配当等相当額)	(49,946,459,687)	(49,315,244,253)	(48,741,185,604)	(46,828,417,622)	(45,463,590,908)	(44,368,403,880)		
(売買損益相当額)	(△ 128,386,695,453)	(△ 128,097,099,375)	(△ 127,480,794,792)	(△ 123,042,111,364)	(△ 120,007,872,495)	(△ 117,356,524,322)		
分配準備積立金	—	—	—	—	—	123,344,422		
繰越損益金	△ 37,370,720,291	△ 34,219,754,651	△ 34,151,411,037	△ 33,523,370,829	△ 34,144,389,108	△ 32,454,501,538		

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	922,029,518円	1,311,445,149円	980,204,442円	928,625,868円	836,849,889円	1,050,130,598円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	50,576,736,122	49,543,163,741	48,775,755,775	46,875,626,736	45,576,445,200	44,368,403,880
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	51,498,765,640	50,854,608,890	49,755,960,217	47,804,252,604	46,413,295,089	45,418,534,478
(f) 分配金	1,552,305,953	1,539,364,637	1,014,774,613	975,834,982	949,704,181	926,786,176
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	49,946,459,687	49,315,244,253	48,741,185,604	46,828,417,622	45,463,590,908	44,491,748,302
(h) 受益権総口数	172,478,439,298口	171,040,515,318口	169,129,102,229口	162,639,163,776口	158,284,030,277口	154,464,362,733口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	90円	90円	60円	60円	60円	60円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2019年6月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（円建て）

財政状態計算書
2018年9月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	65,727,182,589
未収：		
売却済みの投資		797,600,000
資産合計		66,524,782,589

負債

未払：		
受益証券の買戻し		797,600,000
負債合計		797,600,000

資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）

受益証券元本		121,642,808,699
繰越損失		(55,915,626,110)
資本合計	¥	65,727,182,589
資本・負債合計	¥	66,524,782,589

包括利益計算書

2018年9月30日に終了した年度

収益

手数料収入	¥	24,381,956,377
金融資産および金融負債に係る純実現利益（損益通算後の評価額）		1,285,479,094
金融資産および金融負債に係る評価損の純変動（損益通算後の評価額）		(37,833,624,843)
収益（損失）合計		(12,166,189,372)

費用

報酬支払代行人手数料		334,674,126
費用合計		334,674,126

営業利益（損失）

(12,500,863,498)

包括利益（損失）合計

（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増（減））

¥ (12,500,863,498)

2018年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	米国 REIT クワトロ戦略
満期日	2021年12月30日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
原価	122,844,939,923 円
公正価値	65,727,182,589 円
評価損	(57,117,757,334) 円

（注）担保付スワップへの投資を通じて、米国のリートへ投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

＜補足情報＞

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第47期の決算日（2019年 6 月17日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を15ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年12月18日から2019年 6 月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 330,004		千円

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年 6 月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

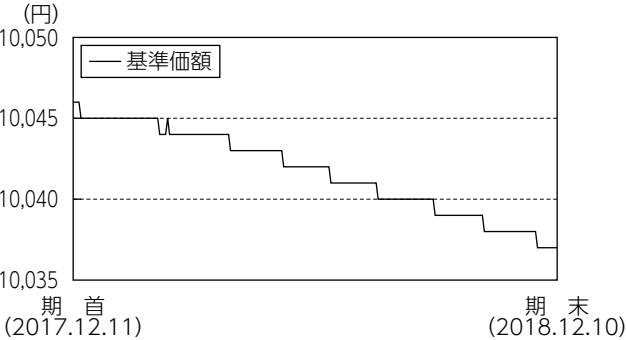
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2017年12月11日	円	%	%
12月末	10,045	△0.0	—
2018年 1 月末	10,045	△0.0	—
2 月末	10,044	△0.0	0.5
3 月末	10,044	△0.0	—
4 月末	10,043	△0.0	—
5 月末	10,042	△0.0	—
6 月末	10,041	△0.0	—
7 月末	10,040	△0.1	—
8 月末	10,040	△0.1	—
9 月末	10,039	△0.1	—
10月末	10,038	△0.1	—
11月末	10,037	△0.1	—
(期末)2018年12月10日	10,037	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,046円 期末：10,037円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	3 (3)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 900,005	千円 — (900,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
723 国庫短期証券 2018/3/5	400,003		
757 国庫短期証券 2018/8/13	290,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	210,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	69,363,521	100.0
投資信託財産総額	69,363,521	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	69,363,521,826円
コール・ローン等	69,363,521,826
(B) 負債	4,205,708
その他未払費用	4,205,708
(C) 純資産総額(A－B)	69,359,316,118
元本	69,103,393,644
次期繰越損益金	255,922,474
(D) 受益権総口数	69,103,393,644口
1万口当り基準価額(C／D)	10,037円

* 期首における元本額は126,824,072,530円、当作成期間中における追加設定元本額は34,268,505,333円、同解約元本額は91,989,184,219円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米ドル・ブルファンド（適格機関投資家専用）688,792,367円、ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用）13,951,738,463円、ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）1,089,639円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－07（為替ヘッジあり）1,247,428,788円、通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ（毎月分配型）159,141円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）267,324,664円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－10（為替ヘッジあり）Ⅱ74,557,679円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015－12（為替ヘッジあり）207,961,746円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－02（為替ヘッジあり／限定追加型）158,901,180円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016－08（為替ヘッジあり／限定追加型）1,350,789,013円、オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース）9,963円、オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース）9,963円、ダイワJPX日経400ベア・ファンド（適格機関投資家専用）3,783,296,400円、AHLターゲットリススク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用）1,692,026,279円、ダイワユーロベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）852,128,164円、ダイワ米ドルベア・ファンド（2倍、非リバランス型）（適格機関投資家専用）33,557,519,292円、ダイワ／ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド5,408,343円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）998円、ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型）998円、ダイワTOPIXベア・ファンド（適格機関投資家専用）11,262,889,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券α（毎月分配型）9,949円、ダイワ米国国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－USTライアングル－997,374円、ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド－予想分配金提示型－173,802円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,037円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 40,939,945円
受取利息	308,822
支払利息	△ 41,248,767
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 26,534,819
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 67,474,766
(E) 前期繰越損益金	577,677,502
(F) 解約差損益金	△399,394,006
(G) 追加信託差損益金	145,113,744
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	255,922,474
次期繰越損益金(H)	255,922,474

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。